

第82期（平成16年4月～平成16年9月）
中間決算説明資料



平成16年11月
証券コード：2264

当資料の構成

第8 2期中間決算の概況

単体決算関連

- (1) 要約中間損益計算書
- (2) 要約中間貸借対照表
- (3) その他

連結決算関連

- (1) 要約中間連結損益計算書
- (2) 要約中間連結貸借対照表
- (3) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書
- (4) その他

通期業績予想関連 (平成17年3月期)

当資料の表示等に関する注記

当中間期・・・平成16年9月期、前中間期・・・平成15年9月期、前期...平成16年3月期

金額の表示単位・・・表示単位未満切捨て

前同差、前同比・・・それぞれ対前年中間増減額、増減率を示す

会計処理の変更

販売競争の激化により得意先に対する拡売費の支出が増加する傾向にあったことから、その支出の内容を見直した結果、取引形態の変化に起因して実質的に売上値引に相当する支出金額の重要性が増しており、今後もその傾向が続くと見込まれたため、当中間期より、当該売上値引相当額について、販売費として処理する方法から売上高を減額する方法に変更いたしました。

この変更により、従来の方によった場合と比べ、売上高、売上総利益および販売費及び一般管理費が、単体ベースでは4,166百万円、連結ベースでは3,684百万円、それぞれ減少しております。なお、営業利益以下への影響はありません。

第8 2期中間決算の概況

損益計算書

(単位：百万円、%)

	単 体			連 結			連単倍率	
	当中間期	前 同 比	前 同 比	当中間期	前 同 比	前 同 比	当中間期	前中間期
売 上 高	237,043	100.0	2.8	307,875	100.0	+2.3	1.30	1.23
営 業 利 益	6,958	2.9	+7.9	11,420	3.7	+13.5	1.64	1.56
経 常 利 益	8,147	3.4	+3.1	12,369	4.0	+10.9	1.52	1.41
中 間 純 利 益	4,100	1.7	+20.3	6,153	2.0	+24.9	1.50	1.45

貸借対照表

(単位：百万円、%)

	単 体			連 結			連単倍率	
	当中間期	前 同 比	前 同 比	当中間期	前 同 比	前 同 比	当中間期	前中間期
総 資 産	265,481	100.0	+0.7	327,826	100.0	+2.1	1.23	1.22
負 債	194,278	73.2	1.0	231,701	70.7	+0.1	1.19	1.18
少 数 株 主 持 分	-	-	-	2,392	0.7	11.4	-	-
資 本	71,203	26.8	+5.5	93,731	28.6	+7.8	1.32	1.29

連結の範囲等

	当中間期	前中間期
連結子会社	37社	38社
持分法適用非連結子会社	6社	6社
持分法適用関連会社	-	-

単体決算関連

(1) 要約中間損益計算書

(単位：百万円、%)

	当中間期	売上比	前中間期	売上比	前同差	前同比	説明	前 期
売上高	237,043	100.0	243,761	100.0	6,718	2.8		456,808
売上原価	172,168	72.6	174,418	71.6	2,250	1.3		328,706
売上総利益	64,875	27.4	69,342	28.4	4,467	6.4		128,102
販売費及び一般管理費	57,916	24.4	62,896	25.8	4,979	7.9		120,350
営業利益	6,958	2.9	6,446	2.6	512	+7.9		7,751
営業外収益	1,979	0.8	2,169	0.9	189	8.8		3,731
営業外費用	790	0.3	712	0.3	77	+10.9		1,449
経常利益	8,147	3.4	7,903	3.2	244	+3.1		10,033
特別利益	260	0.1	632	0.3	371	58.8		842
特別損失	1,292	0.5	1,752	0.7	460	26.2		3,186
税引前中間(当期)純利益	7,115	3.0	6,783	2.8	332	+4.9		7,689
法人税等	3,015	1.3	3,375	1.4	359	10.7		3,450
法人税等調整額	-	-	-	-	-	-		424
中間(当期)純利益	4,100	1.7	3,407	1.4	692	+20.3		3,814

売上高の状況

(1) 会計処理方法変更後

(単位：百万円、%)

製品分類	金 額						数 量		金額 前期
	当中間期	構成比	前中間期	構成比	前同差	前同比	当中間期	前同比	
市 乳 計	110,136	46.4	116,022	47.6	5,885	5.1	496,111	2.0	219,399
牛乳類	46,567		49,009		2,442	5.0	281,205	3.8	93,961
乳飲料等	26,851		26,215		636	+2.4	122,989	+4.6	47,657
はっ酵乳	27,521		32,651		5,129	15.7	73,196	9.7	60,165
プリン等	9,196		8,145		1,050	+12.9	18,721	+20.7	17,614
乳製品計	45,420	19.2	46,887	19.2	1,466	3.1	50,179	1.6	95,988
練 乳	2,206		2,171		34	+1.6	4,823	2.4	4,465
粉 乳	22,011		23,177		1,165	5.0	21,060	5.6	47,050
バ タ ー	5,777		6,107		330	5.4	6,012	4.6	12,381
チ ーズ	15,425		15,430		5	0.0	18,282	+4.8	32,090
アイスクリーム	26,490	11.2	27,090	11.1	600	2.2	58,105	2.5	39,420
その他計	54,995	23.2	53,761	22.1	1,234	+2.3			102,000
飲 料	19,711		18,545		1,166	+6.3	137,058	+11.7	32,415
その他	35,284		35,216		67	+0.2			69,585
合 計	237,043	100.0	243,761	100.0	6,718	2.8			456,808

(2) 会計処理方法変更前

(単位：百万円、%)

製品分類	金 額						数 量		金額 前期
	当中間期	構成比	前中間期	構成比	前同差	前同比	当中間期	前同比	
市 乳 計	113,183	46.9	116,022	47.6	2,838	2.4	496,111	2.0	219,399
牛乳類	47,007		49,009		2,002	4.1	281,205	3.8	93,961
乳飲料等	27,848		26,215		1,633	+6.2	122,989	+4.6	47,657
はっ酵乳	28,861		32,651		3,789	11.6	73,196	9.7	60,165
プリン等	9,466		8,145		1,320	+16.2	18,721	+20.7	17,614
乳製品計	45,498	18.9	46,887	19.2	1,388	3.0	50,179	1.6	95,988
練 乳	2,206		2,171		34	+1.6	4,823	2.4	4,465
粉 乳	22,011		23,177		1,165	5.0	21,060	5.6	47,050
バ タ ー	5,787		6,107		320	5.2	6,012	4.6	12,381
チ ーズ	15,492		15,430		62	+0.4	18,282	+4.8	32,090
アイスクリーム	26,490	11.0	27,090	11.1	599	2.2	58,105	2.5	39,420
その他計	56,037	23.2	53,761	22.1	2,275	+4.2			102,000
飲 料	20,417		18,545		1,872	+10.1	137,058	+11.7	32,415
その他	35,620		35,216		403	+1.1			69,585
合 計	241,209	100.0	243,761	100.0	2,551	1.0			0

(注) 数量の単位は、乳製品はt o n、市乳、アイスクリームはk lで表示
その他計中のその他には、ゼリー、クリーム類、飼料などが含まれる

主な増減要因

市乳計

- 牛乳類・・・「森永のおいしい牛乳」の販売地区を拡大するも、商品絞り込みや天候不順の影響を受けた。
- 乳飲料類・・・「カフェラッテ」などのマウントレニアシリーズ、「リプトンミルクティー」を中心に好調。
- はっ酵乳・・・市場の低迷、競争の激化もあり苦戦。
- プリン等・・・「たっぷりホイップクリームプリン」や新製品の「銘店のデザート」などの貢献で2桁伸長。

乳製品計

- 練乳・・・猛暑の影響で、氷関係の需要が拡大し、前年を上回った。
- 粉乳・・・「クリープ」は猛暑の影響により苦戦。調製粉乳は、出生数減少の影響がある中、「チルミル」が前同を上回るも、「はぐくみ」が前同を下回った。
- チーズ・・・家庭用は苦戦したが、業務用の好調により前同並み。
- アイスクリーム・・・猛暑の影響で氷菓類は好調も、全体では苦戦。
- その他計
 - 飲料・・・猛暑の影響もあり「リプトンティー」、「サンキスト」等の果汁飲料を中心に好調。
 - その他・・・フルーツゼリー、流動食など好調。

売上総利益

当中間期より売上高の計上方法を変更しており、変更前の売上総利益前同差は 301百万円である。変更前の売上総利益率は28.6%と前同に比べ0.2%改善されており、その主な要因は、乳飲料を中心としたカップ飲料の好調など、プロダクトミックスが改善したことによる。

販売費及び一般管理費の状況

(単位：百万円、%)

主要な項目	当中間期		前中間期		前同差	前同比	前期
		構成比		構成比			
拡売費	27,176	47.0	31,917	50.7	4,740	14.9	62,113
広告宣伝費	3,549	6.1	3,449	5.5	100	+2.9	5,438
運送費・保管料	9,734	16.8	9,825	15.6	91	0.9	18,376
従業員給料・賞与	8,156	14.1	8,402	13.4	246	2.9	16,234
福利厚生費	1,128	1.9	1,176	1.9	47	4.1	2,336
その他	8,170	14.1	8,125	12.9	44	+0.6	15,850
合計	57,916	100.0	62,896	100.0	4,979	7.9	120,350

主な増減要因

- ・拡売費は会計処理変更の影響に加え、効率的な投入により減少。
- ・従業員給与・賞与は正規従業員の減などにより減少。
- ・当中間期のその他には、外形標準課税130百万円が算入されている。

営業外損益の状況

(単位：百万円、%)

	当中間期		前中間期		前同差	前同比	前期
		売上比		売上比			
営業外収益	1,979	0.8	2,169	0.9	189	8.8	3,731
受取利息及び配当金	1,358	0.6	1,302	0.5	56	+4.3	2,108
投資有価証券評価損戻入益	-	-	167	0.1	167	-	218
雑収益	621	0.3	700	0.3	78	11.3	1,404
営業外費用	790	0.3	712	0.3	77	+10.9	1,449
支払利息	622	0.3	633	0.3	10	1.6	1,257
投資有価証券評価損	3	0.0	-	-	3	-	-
雑損失	164	0.1	79	0.0	84	+106.6	192

主な増減要因

- ・金融収支は受取配当金の増加などにより改善。
- ・上場株式の評価は部分資本直入法を採用している。洗替の結果として営業外損益は1.7億円悪化。

特別損益の状況

(単位：百万円、%)

	当中間期		前中間期		前同差	前同比	前期
		売上比		売上比			
特別利益	260	0.1	632	0.3	371	58.8	842
固定資産売却益	138	0.1	510	0.2	371	72.8	537
退職給付会計基準変更時差異	122	0.1	122	0.1	-	-	244
投資有価証券売却益	0	0.0	0	0.0	0	98.2	60
特別損失	1,292	0.5	1,752	0.7	460	26.2	3,186
固定資産処分損	338	0.1	266	0.1	71	+26.7	748
(財)ひかり協会負担金	777	0.3	745	0.3	32	+4.3	1,556
投資有価証券等減損処理額	177	0.1	740	0.3	563	76.1	844
投資有価証券等売却損	0	0.0	-	-	0	-	8
その他の特別損失	-	-	-	-	-	-	26

主な増減要因等

- ・固定資産売却益は土地の売却の減少。
- ・投資有価証券等減損処理額は、前中間期の関係株式の減損が多かったことなどによる。

(2) 要約中間貸借対照表

(単位：百万円)

	当中間期	前中間期	前同差	説明	前期
流動資産	110,999	108,220	2,778		105,388
現金預金	7,470	6,196	1,274		6,187
売上債権	60,274	61,863	1,589		56,098
たな卸資産	23,618	20,809	2,808		23,161
その他	19,637	19,351	285		19,942
固定資産	154,481	155,417	936		156,671
有形固定資産	107,743	110,014	2,271		109,247
無形固定資産	194	203	9		198
投資その他	46,543	45,199	1,344		47,225
資産計	265,481	263,638	1,842		262,059

	当中間期	前中間期	前同差	説明	前期
流動負債	136,609	124,363	12,245		119,287
手形・買掛金	55,747	56,971	1,224		52,026
短期借入金	3,024	8,237	5,212		4,780
マ-シャル-ハ-	7,000	5,000	2,000		13,000
一年内償還社債	15,000	-	15,000		-
その他	55,837	54,154	1,683		49,481
固定負債	57,668	71,794	14,125		73,565
社債	35,000	50,000	15,000		50,000
長期借入金	12,981	11,006	1,975		13,720
その他	9,686	10,787	1,101		9,845
負債計	194,278	196,158	1,879		192,852
資本計	71,203	67,480	3,722		69,206
負債・資本計	265,481	263,638	1,842		262,059

主要項目の内容および増減要因

	前同差	主な要因
現金預金	1,274	支払代行(関係会社の支払いを当社が代行)を拡大していることもあり、安全を見て厚めにコントロールした。
売上債権	1,589	一部子会社の回収サイトが短縮したことや売上高の減少による。
たな卸資産	2,808	脱粉等の在庫増などによる。
有形固定資産	2,271	設備投資 11,328 減価償却費 12,059 売却減失等 1,540
投資その他	1,344	前同期末に比べ、投資有価証券の時価が上がったことによる。
手形・買掛金	1,224	売上高の減少に伴う減少。
借入金・社債等	1,237	営業収入の増加などにより、前同期末残高を下回った。
その他	1,683	当社グループファイナンスの活用による預り金の増加による。
その他	1,101	人員構成変化に伴う退職給付引当金の減少。

注) 有形固定資産の前期末からの比較

増減額 1,503 = 設備投資額4,905 減価償却費 5,622 売却減失等 786

(3) その他

設備投資および減価償却費の推移

(単位：億円)

	設備投資額			減価償却費
	実績 (前年差)	うち生産設備 実績 (前年差)	うち販売設備 実績 (前年差)	実績 (前年差)
平成14年3月期	144 (1)	112 (10)	32 (8)	117 (4)
平成15年3月期	144 (0)	110 (2)	34 (2)	116 (1)
平成16年3月期	133 (11)	105 (5)	28 (6)	122 (6)
平成17年3月期見込	130 (3)	100 (5)	30 (2)	120 (2)
平成16年3月中間期	69 (3)	52 (4)	16 (1)	58 (5)
平成17年3月中間期	49 (20)	35 (17)	13 (3)	56 (2)

従業員数の推移

	9月末 実績 (前年差)	3月末 実績 (前年差)
平成14年3月期	3,628名 (147名)	3,482名 (179名)
平成15年3月期	3,504名 (124名)	3,352名 (130名)
平成16年3月期	3,433名 (71名)	3,257名 (95名)
平成17年3月期	3,382名 (51名)	

集乳量の推移

(単位：千トン)

	集乳量		
	実績 (前年差)	うち北海道 実績 (前年差)	うち都府県 実績 (前年差)
平成14年3月期	769 (12)	386 (14)	383 (26)
平成15年3月期	817 (48)	423 (37)	394 (11)
平成16年3月期	820 (3)	449 (26)	371 (23)
平成17年3月期見込	823 (3)	454 (5)	369 (2)
平成16年3月中間期	412 (10)	224 (27)	188 (17)
平成17年3月中間期	418 (6)	234 (10)	184 (4)

注) 前年差は、それぞれ前年同期との差を示している。

連結決算関連

(1) 要約中間連結損益計算書

(単位：百万円、%)

	当中間期	売上比	前中間期	売上比	前同差	前同比	説明	前 期
売上高	307,875	100.0	300,917	100.0	6,957	+2.3		565,543
売上原価	212,928	69.2	204,509	68.0	8,419	+4.1		386,746
売上総利益	94,946	30.8	96,408	32.0	1,461	1.5		178,797
販売費及び一般管理費	83,526	27.1	86,348	28.7	2,822	3.3		165,570
営業利益	11,420	3.7	10,059	3.3	1,360	+13.5		13,226
営業外収益	1,848	0.6	1,917	0.6	68	3.6		3,647
営業外費用	899	0.3	822	0.3	76	+9.4		1,737
経常利益	12,369	4.0	11,154	3.7	1,214	+10.9		15,136
特別利益	379	0.1	660	0.2	281	42.6		936
特別損失	1,385	0.4	1,545	0.5	160	10.4		3,125
税金等調整前中間(当期)純利益	11,363	3.7	10,270	3.4	1,093	+10.6		12,947
法人税等	5,068	1.6	5,230	1.7	162	3.1		5,466
法人税等調整額	-	-	-	-	-	-		873
少数株主利益	142	0.0	115	0.0	26	+23.1		146
中間(当期)純利益	6,153	2.0	4,924	1.6	1,228	+24.9		6,460

売上高の状況

(単位：百万円、%)

連結事業セグメント	当中間期	構成比	前中間期	構成比	前同差	前同比	前期
1) 食品事業	295,804	96.1	288,823	96.0	6,980	+2.4	539,979
2) その他事業	15,171	4.9	15,399	5.1	228	1.5	31,686
消去又は全社	3,100	1.0	3,304	1.1	204	6.2	6,122
合 計	307,875	100.0	300,917	100.0	6,957	+2.3	565,543

「その他事業」には、飼料、プラント設備の設計施工、不動産の賃貸、運輸、倉庫業等が含まれる。

食品事業

単体は苦戦したが、物流・販売子会社の好調により増収となった。

その他事業

プラント設備の設計施工会社の減収による。

売上総利益

当中間期より売上高の計上方法を変更しており、変更前の売上総利益前同差は2,222百万円の増益であった。

販売費及び一般管理費の状況

(単位：百万円、%)

	当中間期		前中間期		前同差	前同比	前 期
		構成比		構成比			
主要な項目 (販売費)							
拡売費	31,173	37.3	35,242	40.8	4,068	11.5	68,959
運送費・保管料	21,241	25.4	19,938	23.1	1,303	+6.5	36,926
従業員給料・賞与	8,783	10.5	8,976	10.4	193	2.2	17,675
(一般管理費)							
従業員給料・賞与	4,159	5.0	4,282	5.0	122	2.9	8,298
その他	18,168	21.8	17,908	20.7	260	+1.5	33,710
合計	83,526	100.0	86,348	100.0	2,822	3.3	165,570

主な増減要因

- ・拡売費は会計処理変更の影響に加え、効率的な投入により減少。
- ・物流子会社の売上好調もあり、運送料・保管料が増加した。
- ・当中間期のその他には外形標準課税151百万円が算入されている。

営業外損益の状況

(単位：百万円、%)

	当中間期		前中間期		前同差	前同比	前 期
		売上比		売上比			
営業外収益	1,848	0.6	1,917	0.6	68	3.6	3,647
受取利息及び配当金	1,088	0.4	1,092	0.4	3	0.3	1,910
投資有価証券評価損戻入益	-	-	195	0.1	195	-	259
持分法投資利益	20	0.0	38	0.0	17	45.5	204
雑収益	739	0.2	592	0.2	147	+24.9	1,272
営業外費用	899	0.3	822	0.3	76	+9.4	1,737
支払利息	701	0.2	735	0.2	33	4.6	1,446
投資有価証券評価損	24	0.0	-	-	24	-	-
雑収入	173	0.1	87	0.0	86	+99.5	291

主な増減要因

- ・金融収支は借入金利率低下などにより改善。
- ・上場株式の評価は部分資本直入法を採用している。洗替の結果として営業外損益は2.2億円悪化。

特別損益の状況

(単位：百万円、%)

	当中間期		前中間期		前同差	前同比	前 期
		売上比		売上比			
特別利益	379	0.1	660	0.2	281	42.6	936
固定資産売却益	139	0.0	511	0.2	371	72.7	539
退職給付会計基準変更時差異	59	0.0	59	0.0	-	-	118
その他の特別利益	180	0.1	89	0.0	90	+100.2	277
特別損失	1,385	0.4	1,545	0.5	160	10.4	3,125
固定資産処分損	404	0.1	335	0.1	68	+20.5	953
(財)ひかり協会負担金	777	0.3	745	0.2	32	+4.3	1,556
投資有価証券等減損処理額	177	0.1	366	0.1	188	51.6	365
その他の特別損失	25	0.0	98	0.0	72	73.5	250

主な増減要因等

- ・ 固定資産売却益・・・単体の土地売却の減少
- ・ 投資有価証券等減損処理額・・・（前中間期）単体の金額のうち、連結子会社分は消去されている。

(2) 要約中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当中間期	前中間期	前同差	説明	前期
流動資産	122,652	115,299	7,353		112,104
現金預金	13,109	11,812	1,296		10,366
売上債権	70,331	68,231	2,100		63,774
たな卸資産	29,537	26,347	3,189		29,303
その他	9,674	8,907	767		8,659
固定資産	205,173	205,924	750		206,252
有形固定資産	155,842	157,592	1,749		156,257
無形固定資産	958	973	14		966
投資その他	48,372	47,358	1,013		49,028
資産計	327,826	321,223	6,602		318,356

	当中間期	前中間期	前同差	説明	前期
流動負債	152,881	137,686	15,195		131,902
手形・買掛金	68,506	67,148	1,357		60,928
短期借入金	9,219	14,175	4,955		11,476
コーポレート・バ 一年償還社債	7,000	5,000	2,000		13,000
その他	15,000	-	15,000		-
固定負債	53,155	51,362	1,793		46,498
社債	78,819	93,891	15,071		94,315
長期借入金	35,000	50,000	15,000		50,000
その他	20,565	19,278	1,286		20,829
負債計	23,254	24,612	1,358		23,485
負債計	231,701	231,577	124		226,217
少数株主持分	2,392	2,702	309		2,304
資本計	93,731	86,944	6,787		89,834
負債～資本計	327,826	321,223	6,602		318,356

主要項目の内容および増減要因

	前同差	主な要因
現金預金	1,296	単体の残高増の影響による。
売上債権	2,100	子会社の売上高が増加したため。
たな卸資産	3,189	単体の残高増の影響による。
有形固定資産	1,749	設備投資16,889 減価償却費 16,750 売却減失等 1,888
投資その他	1,013	前同期末に比べ、投資有価証券の時価が上がったことによる。
手形・買掛金	1,357	(単体との差) 子会社の売上高増に伴う仕入債務等の増加。
借入金・社債等	1,669	営業収入の増加などにより前同期末残高を下回った。
その他	1,793	子会社の売上高増に伴う未払費用の増加等。
その他	1,358	単体の退職給付引当金減少による。
少数株主持分	309	清水乳業(株)の親会社持分アップに伴う少数株主持分の減少による。
資本計	6,787	利益剰余金の増加に加え、投資有価証券の時価上昇による評価差額金の増加。

注) 有形固定資産の前期末からの比較

増減額 414 = 設備投資額8,373 減価償却費 7,872 売却減失等 915

(3) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当中間期	前中間期	前同差	前期
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,921	17,396	5,524	17,829
税金等調整前中間(当期)純利益	11,363	10,270	1,093	12,947
減価償却費	7,890	8,164	273	17,063
売上債権の増減額(増加：)	6,632	6,338	294	1,898
棚卸資産の増減額(増加：)	250	2,446	2,696	545
仕入債務・未払費用の増減額(減少：)	12,377	8,609	3,768	536
法人税等の支払額	1,314	4,456	3,142	8,076
その他	513	1,299	785	1,124
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,018	9,069	949	17,857
有形固定資産購入額	9,713	9,274	438	17,046
有形固定資産売却額	612	1,062	449	1,525
投資有価証券の取得	127	205	78	598
その他	790	650	139	1,737
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,067	3,224	6,842	3,715
長期債務の増減額(減少：)	585	1,992	1,406	455
短期債務の増減額(減少：)	7,919	317	8,236	5,721
配当金の支払額	1,521	1,521	0	1,521
その他	41	28	13	29
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	9	13	40
現金及び現金同等物の増減額(減少：)	2,839	5,093	2,254	3,646
現金及び現金同等物の期首残高	9,914	6,267	3,646	6,267
連結子会社減少に伴う期首残高減少額	28	-	28	-
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	12,725	11,361	1,364	9,914
借入金・社債残高	86,785	88,453	1,668	95,305
フリーキャッシュ・フロー	12,902	8,327	4,575	28

当中間期のフリーキャッシュ・フローは営業収入の増加に加え、前中間期の法人税等の支払額が多かったことなどにより、前中間期に加え約46億円増の129億円となった。

(4) その他

設備投資および減価償却費の推移

(単位：億円)

	設備投資額		減価償却費	
	実績	(前年差)	実績	(前年差)
平成14年3月期	208	(19)	161	(1)
平成15年3月期	205	(3)	163	(2)
平成16年3月期	184	(21)	170	(7)
平成17年3月期(見込)	190	(6)	168	(2)
平成16年3月期中間期	99	(7)	81	(5)
平成17年3月期中間期	84	(15)	79	(2)

通期業績予想関連（平成17年3月期）

注）当ページの「前年差」「前年比」はそれぞれ平成16年3月期との対比

単 体

（１）業績予想

（単位：百万円、％）

	通期計画			当初計画（平成16.5.20）		
		前年差	前年比		当初計画差	当初計画比
売上高	447,000	-9,808	2.1	467,000	20,000	4.3
営業利益	9,200	1,448	+18.7	10,100	900	8.9
経常利益	11,000	966	+9.6	12,000	1,000	8.3
当期純利益	4,800	985	+25.8	5,200	400	7.7

（２）部門別売上高予想

（単位：百万円、％）

	通期計画			当初計画（平成16.5.20）		
		前年差	前年比		当初計画差	当初計画比
市乳計	210,400	-8,999	4.1	226,000	15,600	6.9
乳製品計	94,500	-1,488	1.6	97,000	2,500	2.6
アイスクリーム	39,300	-120	0.3	41,000	1,700	4.1
その他計	102,800	799	+0.8	103,000	200	0.2
合計	447,000	-9,808	2.1	467,000	20,000	4.3

（３）設備投資および減価償却費

設備投資： 130億円（前年差3億円の減）
 うち生産設備 100億円（前年差5億円の減）
 うち販売設備 30億円（前年差2億円の増）

減価償却費： 120億円（前年差2億円の減）

連 結

（１）業績予想

（単位：百万円、％）

	通期計画			当初計画（平成16.5.20）		
		前年差	前年比		当初計画差	当初計画比
売上高	572,000	6,456	+1.1	579,000	7,000	1.2
営業利益	15,500	2,273	+17.2	15,700	200	1.3
経常利益	17,000	1,863	+12.3	17,000	-	-
当期純利益	7,800	1,339	+20.7	7,800	-	-

（２）設備投資および減価償却費

設備投資： 190億円（前年差6億円の増）

減価償却費： 168億円（前年差2億円の減）

業績予想に関する注意事項

上記の予想は、平成16年11月18日の決算発表日現在において入手可能な情報あるいは想定できる市場動向などを前提としており、不確実性が含まれています。実際の業績等は、今後の様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。